

ハイビジョンソフト「人類史上もっとも長生きする文字・漢字を伝承するのは日本のこどもたち」制作頒布事業

子どもたちに書写の楽しさを伝えるDVDソフト制作

助成団体
NPO法人
奈良21世紀フォーラム

日本の伝統文化の保護や伝承等を目的に、古都・奈良で幅広い活動を展開しているNPO法人「奈良21世紀フォーラム」。日本語の表記に欠くことのできない「漢字」の魅力や文化的意味を現代の子どもたちに伝え、その伝承者になってもらうことを目指したDVDソフトの制作への取り組みを評価し、助成を行った。



子どもたちが救う“漢字の危機”

奈良21世紀フォーラムの取り組みは、奈良盆地や吉野山地に残る膨大な歴史文化遺産を一市民の視点から見直し、その保存や街との共生を目指す市民文化活動である。

飛鳥時代の「蹴鞠」の再現イベントや、大和地方の伝統芸能・祭りを通じた街作りの促進、原生林保全への支援等、地域に密着した幅広い活動分野の1つに、貴重な伝統文化の記録・再生事業というものがある。失われつつある大和の文化遺産、なかでも無形文化財を映像によって記録し、後世に伝えていく事業である。そして、その活動の一環として行われたのが、「漢字」文化伝承のためのDVDソフト制作であった。

文字は、人類が創造する文明の原動力といわれる。中でも黄河文明で誕生した「漢字」は、世界で最も長い寿命を持つ文字であ

り、現在まで3300年以上にもわたって継承され続けている。奈良21世紀フォーラムの高岡幸雄事務局長は、漢字についてこう語る。

「文字には、『字の形』『字の音』『意味』という大切な3つの要素があります。その要素をすべて備え、維持してきたことが、漢字が世界でも類を見ない長寿文字になった理由です」

しかし、こうして永きにわたって続いてきた漢字文化の未来は、決して明るいものではない、という。

「漢字発祥の地である中国では、20世紀に入ってから急速に字体の簡略化が進み、3要素のバランスが崩れつつあります。このことから、正しい漢字を後世に伝えていく正統な継承者は、今も唐代に作られた楷書体の漢字を学習している日本の小中学生であるといえるのです」

“楽しさ”の伝達が漢字継承の第一歩

奈良の教育指導者に向け、漢字継承の重要性を訴えるために制作されたDVDソフトは、「書くことは楽しい ～書の都 奈良の挑戦～」と題された。その内容は、パソコンや携帯電話の爆発的普及によって活字離れが進む小中学生に対して“毛筆で字(漢字)を書くことの楽しさ”を伝えることを旨としている。県下で行われた子どもたちの書き初め大会の様子、小中学校の書写の授業風景をはじめ、日本における「墨」の歴史、奈良県で現在も続く伝統的な墨・毛筆作りの様子等の収録映像には、文字を書くことの啓蒙だけでなく、書にまつわる産業の活性化への願いも込められている。

完成したDVDソフト1,000本(同時にVHS 1,000本も制作)は全国の教育機関等に頒布したほか、平成18年(2006年)5月には、奈良県教育委員会や県下小中学校の担当教諭、書道用品の製造組合、関西書道界等の各関係者を招き、奈良市で上映会を行った。

「撮影の際、思うように字が書けることで表現の楽しさを実感している児童たちの様子が印象的でした。その反面、教諭の方々は漢字学習の効果に今ひとつ自信を持っていないのではないのでしょうか。また、製造組合や書道界の方々は、こうした教育の現状を踏まえ、積極的に支援を行って欲しいと願います」

そして奈良21世紀フォーラムでは、早くも次の取り組みを進めている。平成19年(2007年)には、文字を重要視した果敢な挑戦が海外からも高く評価されるアートディレクター・浅葉克巳氏の活動を収めたDVDソフトを頒布する予定だ。

漢字文化の継承を強く願う同団体の小さな一歩が、やがて日本全国へと広がり、大きな成果を上げる日が来るかもしれない。



自分で書いた墨文字をTシャツにプリントして楽しむという生活提案



伝統的な技法を用いて墨作りを行う職人を見学する子どもたち



平成19年(2007年)に頒布を予定している浅葉克巳氏の活動を収録したDVDソフト



制作DVDソフト

書くことは楽しい ～書の都 奈良の挑戦～

- テーマ：東アジアの文明を創造する原動力となった「漢字」。
その存亡を担う日本の小中学生に“書く楽しさ”を通じて漢字継承の意義を伝達する。
 - 収録時間：約20分
 - 撮影日：平成17年(2005年)11月～平成18年(2006年)4月
 - ロケ地：奈良市立佐保川小学校・香芝市立東中学校にて書写の授業風景を撮影
- 完成後の平成18年(2006年)5月、奈良100年会館にて上映会を開催。行政、学校関係者等、延べ70人が参加。奈良文化財研究所の専門家から特に高い評価を得た。

